



- ① I—あ II—い ② I—あ II—う  
 ③ I—い II—あ ④ I—い II—う  
 ⑤ I—う II—あ ⑥ I—う II—い

C ヘレニズム時代の思想の学習のまとめとして課題探究を行った生徒Xとその同級生である生徒Y・生徒Zの会話文を読み、下の問い（問7～9）に答えよ。

生徒X：私は、ヘレニズム時代を代表する思想潮流である、ストア派とエピクロス派についてまとめてみました。

ヘレニズム時代の思想について		
	ストア派	エピクロス派
立場	禁欲主義	快楽主義
生活の信条	□ i □ 生きよ	□ ii □ 生きよ
理想の境地	□ iii □	□ iv □

生徒Y：「禁欲主義」と「快楽主義」というのは対照的だと思うけど、エピクロス派はどんな種類の快楽でも肯定しているのかな。

生徒X：そうではないと思うよ。快楽といっても、その場限りの快楽ではなく、徳に従って生きることによってもたらされる◎永続的な快楽、つまり不安や恐怖が取り除かれた状態を求めていたんだ。その、心の平安を意味する語句が□ iv □なんだ。

生徒Z：ストア派が唱えた□ iii □とは、どういう意味なんだろう。

生徒X：情念や欲望に惑わされることのない不動心のことだよ。

生徒Y：言葉だけ見ると対照的な印象を受けるけど、□ u □点では両者とも共通しているといえそうだね。

生徒X：うん。とはいえ、やはり大きな違いもあって、ストア派が世界市民としての生き方を説いたのに対し、エピクロス派は□ E □と説いているんだ。

問7  ~  に入れる語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

	i	ii	iii	iv
①	自然に従って	隠れて	アパテイア	アタラクシア
②	自然に従って	隠れて	アタラクシア	アパテイア
③	隠れて	自然に従って	アパテイア	アタラクシア
④	隠れて	自然に従って	アタラクシア	アパテイア

問8  ・  に入れる記述の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。

に入れる記述

- a どちらも物質的に満たされることを前提としている
- b どちらも肉体的な快樂のみを肯定的に捉えている
- c どちらも心の平安を求めている

に入れる記述

- d 宇宙全体が1つの国家であり万人が等しくその国民である
- e 政治から離れもっぱら内面的な静けさを求めるべきである
- f 世間や社会といった公的な生活に積極的に参加すべきである

	ウ	エ
①	a	d
②	a	e
③	a	f
④	b	d
⑤	b	e
⑥	b	f
⑦	c	d
⑧	c	e
⑨	c	f

- 問9 下線部㉔に関連して、生徒Xは、発表の準備をするために次のメモを作成した。 **オ**  
 ～ **キ** には、下の a～f のいずれかの記述がそれぞれ入る。 **オ** ～ **キ** に入れる記述の組合せとして最も適当なものを、下の ①～⑧のうちから一つ選べ。 **36**

エピクロスは、デモクリトスの唱えた原子論をもとにして、次の論理によって死の恐怖を克服しようとした。

1. すべてはアトム（原子）から構成されており、人間もまたアトムから構成されている。
2. したがって **オ**。
3. 死ぬということは **カ**。
4. ならば **キ**。
5. したがって、死を恐怖や苦痛と捉えることは誤りである。

- a 感覚は非物質的なものなのだからアトムから構成されるものではない
- b 感覚もアトムの組合せから生じるものである
- c 現世から死後の世界へとアトムが移動するだけのことである
- d アトムが離散することではない
- e 死後の世界でも現世と同じような感覚を持ち続けるはずである
- f 死んだ時には感覚もないのだから恐怖もない

	オ	カ	キ
①	a	c	e
②	a	c	f
③	a	d	e
④	a	d	f
⑤	b	c	e
⑥	b	c	f
⑦	b	d	e
⑧	b	d	f